









Axel Domont
アクセル・ドモン



アクセルは青年期の大半の情熱を自転車に注ぎ、12年間の本格的な競技人生を送ってきた。そのうちの7年間は、ワールド・ツアーチームに所属しプロとしても活動。と同時に彼の人生において常に重要な位置をしめていたのは美食と良質なワインであった。そんな彼にとって競技自転車から引退した際に、情熱がワイン造りへと向かったのは、ごく自然なことだった。レース中の事故をきっかけに、入院中にオンラインの醸造講座を受講し、退院後サヴォワのワイナリーで研修する。生まれはヴァランスだが、競技チームはサヴォワが本拠地であったことから、サヴォワはアクセルにとっても見知った土地となっていたのだ。

2020年は買いブドウで間借りでのワイン造り。2021年も買いブドウだが、自分のセラーでのワイン造り。2022VTはごく少量の自社ブドウと買いブドウで、ワインを造る。とにかく気負ったところのないアクセルは、着実にできることを少しずつ増やしていく。

	○VdF - Kilomètre 0 キロメートル・ゼロ		備考	「キロメートル0」はフランス語で慣習的に新しいスタート、始まりの地点を表す言い方として定着している。特に自転車レースなどのスポーツの分野でよく使われ、スタート地点を示すのにKm 0と表現する。つまりこのワインは、アクセルにとって醸造家としての新しい始まりを意味している。
	畑	品種：ジャケール主体 植樹：1980~1995年 位置：標高280~450m 東向き・南向き 土壌：石灰質		
	○VdF - Chien d'arrêt シアン・ダレ		備考	このキュヴェの形容するならば、緊張感、躍動感そしてエレガンス。これらの特徴はアクセルの飼っている、猟犬(=Chien d'arrêt)のジャーマン・ポインターとすぐに結びついた。
	畑	品種：ジャケール主体 植樹：1995年 位置：標高330m、南向き 土壌：粘土質、石灰質		
	○VdF - Eterlou エテルル		備考	Grand Peneyという自社の区画から収穫したジャケールで醸造。急斜面で作業の難しい区画。
	畑	品種：ジャケール 位置：標高600m 土壌：石灰質		
	●VdF - Nuit Blanche ニュー・ブランシュ		備考	軽やかな抽出と、涼しさを感じさせる軽やかなテクスチャーと後味。初年度の2020VT、このワインの醸造過程で、文字通り徹夜(=Nuit Blanche)をしなければならなかった。醗酵が止まらないように、しかし労働基準の12時間ルールを守りながら、作業を行う必要があった。25ppmのSO2を使わざるを得なかったことが最大に後悔だが、朝にはすべてが正常な状態に戻っていた。
	畑	品種：ガメ100% 植樹：1985年 位置：標高330m、南向き・東向き 土壌：粘土、シルト土壌		
	●VdF - Flamme Rouge フラム・ルージュ		備考	フラム・ルージュFlamme Rougeはフランス語で、自転車レースにおいて「ゴールまであと1キロメートル」を示す三角形の赤い旗を指す。特にツール・ド・フランスなどの自転車レースで道路上の可動式アーチから吊り下げられ、レースの終盤で疲れたライダー達にとっては最後の力を振り絞る目印となるもの。
	畑	品種：モンドウーズ、ガメ、ピノ・ノワール 植樹：1990年 位置：標高350m、東向き 土壌：粘土、泥土		
	●VdF - Rencontres ランコントル		備考	今まで出会ってきた(=Rencontres)多くの助けしてくれた人、つまりワイン造りをしたいと感じさせてくれ、新しい人生の一步を踏み出させてくれた人々への感謝をキュヴェ名に込めた。抽出は強くないが、彼のガメに比べると粗さのあるテクスチャーで飲みごたえがある。
	畑	品種：モンドウーズ100% 植樹：1980年 位置：標高400m、東向き 土壌：泥土		